

aging is beautiful

BAA ニュース (2022.10月号)

肌寒の季節がある10月になりましたが、まだ真夏日もある最近の気候に加え、コロナ禍やウクライナ情勢などまさに今までの経験からは考えられないことが起きる時代です。そんな不確実な時代に、ビューティフルエージングを実践し「わたしらしく生きるために」どうするかは、私たちにとって考えなければならない課題です。そのためのヒントとして、今できることは何かをBAA設立30周年記念講演会では、(公財)ダイヤ高齢社会研究財団・主任研究員の澤岡詩野講師にご講演いただきます。会場とオンラインのハイブリットで開催いたしますので遠隔地からも参加できます。詳細は今月号の記念講演会のご案内をご参照ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、講座内容報告ではエクステンションセミナーの「コロナ禍のストレス 理解と対応 ～ウクライナ戦争の影響も踏まえて～」を掲載しております。更に法人会員やLDA会員の皆様の社会貢献活動もご紹介しております。ビューティフルエージングの実現のために、BAAは学び方、働き方、充実した生き方を支援する活動を今後も行ってまいりますので、皆様のご理解とご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。

今月のBAAスケジュール

BAAではオンラインでの開催が中心になっており、新しい生活様式に応じた活動をしております。多くの方のご参加をお待ちしております。尚、「オンラインが初めての方」には操作方法などをご案内いたします。メールでお気軽にご連絡ください。またホームページ「お知らせ」欄でも発信してまいりますのでよろしくお願い致します。

★ BAAはリモートワークで業務を行っております。電話でお受けできないこともございます。その時はメールでのお問い合わせをお願い致します。

<10月> (*印:本号に詳細を記載しております)

- ◆ 10月 3日 (月) LDAの会 世話人会
- ◆ 10月11日 (火) お話の会「命を繋ぐ朗読会 ～心の痛みを生きる喜びにかえて～」*
- ◆ 10月12日 (水) BAAシニアセミナー「世界遺産って何だろう ～世界遺産誕生ドラマと発見秘話～」*
- ◆ 10月19日 (水) 三鷹ネットワーク大学講座「認知症になっても困らないために ～認知症者の見ている世界とは～」*
- ◆ 10月26日 (水) LDAの会 4水会
- ◆ 10月27日 (木) LDAの会 投資研究会

<11月>

- ◆ 11月 9日 (水) BAAシニアセミナー「外国語習得法を考える ～これからはAIで外国語は勉強不要?～」
- ◆ 11月11日 (金) BAA第2回理事会
- ◆ 11月12日 (土) BAA設立30周年記念講演会*

- ◆ 11月16日（水）三鷹ネットワーク大学講座「人生100年時代の賢い資産形成術～税制優遇制度の活用法～」
- ◆ 11月20日（水）ぶらり街歩き「江戸城ウォーク」＊
- ◆ 11月23日（水）LDAの会 4水会
- ◆ 11月28日（月）LDAの会 L D S分科会

☆状況につきましては、下記担当者にメールでお問い合わせを頂きたく、宜しくお願い致します。

<各担当連絡先>・・・「初めてのオンライン」の方は、以下メンバーに連絡ください。

- ◆ BAA イベント（大相撲観戦、お話の会、ぶらり街歩き、囲碁大会、観劇会）
⇒ 埴 猛：hanawa@baa.or.jp 又は 北村 満：kitamura@baa.or.jp
- ◆ BAA シニアセミナー、三鷹ネットワーク大学講座 ⇒ 大庭 和夫：ooba@baa.or.jp
- ◆ BAA エクステンションセミナー、LDA 養成講座、講演会 ⇒ 埴 猛：hanawa@baa.or.jp
- ◆ 4水会、LDA 分科会・研究会等 ⇒ 濱田 俊一：hamada@baa.or.jp

設 立 3 0 周 年 記 念 講 演 会 の ご 案 内

BAAは1992年8月に公益法人として設立され、今年30周年を迎えることができました。これを記念して講演会を開催いたします。人生100年時代を迎える現在、充実した人生をおくるためには、健康寿命を延ばし、人生の目標や自分の世界を持ち、生きがいを感じることもとても大切です。しかし、いざ実践しようとすると、どうしたら良いのか分からず悩まれる方が多いのではないのでしょうか。今回の講演会では誰でも、今から実践できるヒントが満載です。「わたらしい生き方づくり」を今から始めませんか。会場とZOOMのハイブリットで開催いたしますので、多くの方の参加をお待ちしております。

「わたらしく生きるために、今できること」

あなたは10年後、20年後のご自分を想像することができますか？ どのような生活を送ってみたいですか？ 人生100年時代という親世代も体験したことのない長い時間を前に、生き方に迷う人も少なくありません。確かに、身体や心、お金の問題など、考えはじめれば悩みは尽きず、今からできることに限界もあります。でも、社会との接点、人とのつながり方については違います。高齢期から逆算して今からできる『小さなタネマキ』を考えることで、いかようにも生き方をプロデュースできるはず。私自身、そろそろ親のことに加えて自分の高齢期も気になり始めた仕事が生きがいの中年です（小1の親でもあります）。この機会に、仕事や子育てがひと段落した後の時間、その先に来るであろう思うように身体が動かなくなる時間から逆算して生き方を考えてみませんか？

【講師】 澤岡 詩野 講師 [(公財) ダイヤ高齢社会研究財団・主任研究員]

武蔵工業大学卒業、東京工業大学大学院博士後期課程修了。東京理科大学助手、客員准教授を経て、2007年より現職。専門は豊かな歳の重ね方を追求する「老年社会学」。家庭・職場につぐ第三の居場所づくりに取り組み、人間関係が希薄になりつつある地域社会での「友人未満で知り合い以上のゆるやかなつながり」のあり方、ボランティアなどの主体的な関わりを持ち続けるための仕組みのあり方を研究している。著書に、「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり（ミネルヴァ書房、2016年）、後



悔しい「年賀状終活」のすすめ（カナリアコミュニケーションズ、2019年）などがある。

- ・日時：11月12日（土）13:30～15:20
- ・方法：会場及びZOOMによるオンライン配信（ハイブリット開催）
- ・会場：日本赤十字社本社ビル（東京都港区芝大門1-1-3）
- ・申込み方法：メールでお申し込みください

申込先：北村 kitamura@baa.or.jp、大庭 ooba@baa.or.jp

①名前（フリガナ） ②Eメール ③参加方法（④会場、⑤ZOOM） ⑥BAAとの関係
【⑦LDA・個人会員、⑧会員企業名、⑨その他】 ⑩その他（会費振込名など通信欄）

- ・参加費：BAA会員（LDA含む）1,000円

*上記以外の方は2,000円（以下に振込下さい）

三菱UFJ銀行 虎ノ門支店 普通 0696750

尚、会場で参加される方は、当日持参いただいても結構です。

講座内容報告「コロナ禍のストレス 理解と対応」 ～ウクライナ戦争の影響も踏まえて～

今回はLDAの継続学習として、また現役の方達の学びの場として開催しておりますエクステンションセミナーのご報告です。2年半が経過してもまだ収束の目途が立っていないコロナ禍とウクライナ戦争によるストレスがどのようなものかを知り、そのストレスを少なくするためのヒントを多くの事例を紹介していただきながら学び、考える機会となりました。

心理カウンセラー 金澤 征子

メンタルヘルスのために苦しい日々の勇気づけの言葉

1. コロナ禍のストレス

コロナ禍はあらゆる年齢層に大きなストレスを与えています。毎日、テレビや新聞でウィルス感染のニュースなどにより親や先生から過度の清潔を強制される子どもは学校で配布される資料を除菌シートで拭いたり、食事がとれなくなったりしています。大人の言い方ひとつで過度のストレスにさらされているのです。また、大人がマスクをしていることで小さい子どもは表情が分からず上手くコミュニケーションがとれないためのトラブルも起きています。逆にマスクを外す恐怖や不安を訴える方もいます。外出できずに不登校になったり、うつ病や認知症が進んだりしています。生活面では睡眠の乱れや意欲の低下、物事への無関心、悪夢を見るなどが、体調面では胃痛、腹痛、腰痛、軽度のパーキンソン症状の悪化などが、気分的にはすぐに涙ぐむ抑うつ状態におちいり、人付き合いを避けるなどの症状が起きやすくなっています。

2. ウクライナ戦争の影響

戦争を体験した人には辛い記憶が蘇るフラッシュバックが起きています。些細なことに怒る、不機嫌になる、無口になる、不眠になるなどの症状があらわれることがあります。また、若い人でも、年をとってから辛い記憶が思い出されることも考えられます。子ども達には不安や心配を受け止め、寄り添って戦争について話すことが大切です。

3. 発達障害者への影響

発達障害には学習障害、注意欠如・多動性障害、自閉症スペクトラムがありますが、それぞれにコミュニケーション障害があります。物事を感じとったり表現したりする能力に偏りがあり、社会生活が上手く送れない特性を持っています。これがコロナ禍によりひどくなっている傾向があります。曖昧な

表現が通じない、気持ちを汲み取れない、パターン化した行動や関心・興味が偏っている、匂いや音、感触など過敏に反応する、こだわりが強く変化をこわがるなどでトラブルを起こしています。

4. 発達障害者への対応

急がせない、否定した言い方や指示、命令をしない、曖昧な言葉かけをしない、説明は明確に具体的に伝えるなどが大切です。特に「適当でいいよ「ちょっと待って」」は発達障害者には伝わりにくいです。どうしたら良いか分からず何時間も考え込んだり、過去に失敗して怒られた経験から怖いと感じてしまいます。また、キチンと相手を認めることが重要になってきます。そのためには聴き方が重要になってきます。ポイントは①共感的態度 相手の関心に関心を持つ（聴いてくれていると思うことで本当に嬉しく感じてもらえます） ②話し相手に違和感を与えないこと（話し相手も聴き手を観察しています） ③話し手を話し上手にさせる対応（遮らない、最後まで話を聴く） などのです。最後まで聴くことはアドラー心理学ではよく出てきます。同じようにほめることもアドラー心理学にはよく出てきます。ただ、ほめるよりは勇気づけが大切だと考えています。

5. ほめると勇気づけの違い

ほめるは①上から下への関係、②私の価値に照らして評価、③ほめられたその場限りの満足感であり、ほめる人がいないと行動しない ④他者の評価を意識する ⑤行動、結果を評価に値するとほめる側が判断した時のため評価が人任せになる、などになりがちです。いわゆる、あなたは「えらい」というあなたメッセージになります。

ほめる	勇気づけ
1・上から下への関係	1・対等な関係、本人の気持ちに共感
2・彼の価値に照らして	2・本人の気持ちを理解する
3・その場限りの満足感	3・意欲につながり、他者がいなくても行動する
ほめる人がいないと行動しない	
4・他者の評価を意識する	4・自立心と責任感を育てる
5・行動、結果が評価に値すると	5・結果に関わらず、努力したこと
ほめる側が判断した時	あるいは失敗に対しても行う
「えらい」	「ありがとう」「うれしい」
あなたメッセージ	私メッセージ

勇気づけは①対等な関係、本人の気持ちに共感

②本人の気持ちを理解する ③意欲につながり、他者がいなくても行動する ④自立（律）心と責任感を育てる ことにつながります。そして、⑤結果にかかわらず、努力したことや失敗したことも含めてプロセスを大事にして勇気づけることが失敗を恐れず次につながる行動をとれるようになります。これは、私は「ありがとう」「嬉しい」という私のメッセージになります。

6. あなたメッセージと私メッセージ

あなたメッセージは①（君の）そのやり方がいい ②（君が）正しい ③（君の）そのやり方をやめなさい ④（君が）間違っている などと私が評価しています。審判的・批判的で相手を決めつける言い方になりがちです。

私メッセージは①（私は）そのやり方にOKだ ②（私は）君の意見に賛成だ ③（私は）そのやり方をやめて欲しい ④（私は）君の意見に賛成できない など相手に考えてもらう言い方になります。受容的・共感的で自分の意見として伝える言い方でストレスが少なくなります。

講座案内「エクステンションセミナー（ES）」

現在活躍中のプロの講師から学ぶライフデザイン・アドバイザー（LDA）の継続学習講座です。変化し、成長することを目指す方と共に学びます。ライフキャリアについて知識の幅を拓げませんか。BAA 認定 LDA の継続学習セミナーですが、学びたい方ならどなたでも参加できます。今回は時間を拡大してお送り致します。ZOOM で開催しますのでどこからでも参加できます。ES で一緒に学びましょう。

12月「ここはどこ？ 私はだれ？～「自走人生」への旅立ち」

「65歳以降も働くとしたら理想の働き方は？」この問いに対して、現役中高年会社員はどのように答えたいでしょうか。「私にとっての理想は、今の会社で、今と同じ仕事をする事」という『現状維持の安定

志向派』が7割超を占め、「起業や独立など、今と違うフィールドで」という『チャレンジ志向派』は2割にも届かないという結果でした。

「会社人生」では、自分を牽引してくれる機関車（会社）、導いてくれるレール（人事制度・育成）などが存在しました。頼れるものがあったのです。「人生100年時代、生涯現役」と言われる中で、自らレールを敷きながら、自らの動力で走っていくのが「自走人生」です。いずれは誰にでもやってくる「自走人生」をどのように迎えたらいいのでしょうか。

【講師】 得丸 英司（とくまる えいじ）講師 【自走人（じそうじん） 定年後研究所 特任研究員】

1957年生まれ。日本生命保険で25年間法人・個人のFPコンサルティング業務に従事。日本FP協会常務理事・特別顧問、慶應義塾大学大学院講師などを歴任。2018年に「悩める中高年社員をサポートする」ための一般社団法人定年後研究所を設立、初代所長を務める。中高年社員が「会社人生」を卒業した後を有意義に生きるための「自走人生のススメ」を提唱。著書に『定年後のつくり方』（廣済堂新書）



・日時：2022年12月10日（土）13：30～16：00

・オンライン（ZOOM）で行います

・申込み締切り：11月30日（水）

・会費：LDA会員及び年会費2口以上の個人会員は無料。その他は2,000円

・申込メール：北村（kitamura@baa.or.jp）又は 埴（hanawa@baa.or.jp）

記入：①名前（ふりがな）②メールアドレス③その他（会社・所属・LDA・紹介者・入会など）

講座案内「シニアセミナー」

人生100年時代、世界に例をみない急激な少子高齢化が進んでいるわが国では、社会・経済・生き方が急速に変わりつつあります。

学びを始めるには年齢は関係ありません。同世代を生き抜いて来たシニアの方が楽しく学ぶ場です。ニューノーマル時代、これからの充実した人生を過ごすための情報を提供いたします。

10月講座 「世界遺産って何だろう」 ～世界遺産誕生ドラマと発見秘話～

今年は世界遺産条約採択50周年。関心が高まっている世界遺産はどのようにして誕生したのか、世界遺産リストに登録されるにはどんな要件が必要なのかなどの基礎知識をテスト形式で学び、後半は有名な世界遺産がどのようにして発見されたかの秘話をご紹介します。

【講師】石橋 美紀 講師 【世界遺産士、ライフデザイン・アドバイザー】

◆日時：10月12日（水）15：00～16：30 ……オンライン（ZOOM）で行います

◆申込締切り：10月8日（土）【10月10日（月）受講者にURLをお送りいたします】

◆メール申込先：大庭（ooba@baa.or.jp）

◆名前（ふりがな）②メールアドレス③その他（会社・所属・LDA・紹介者・入会など）

- ◆会費：今年度無料です（どなたでも参加できます）

講座案内「三鷹ネットワーク大学」

BAAが社会貢献活動として、三鷹ネットワーク大学に提供している寄付講座です。「人生100年時代を考える」を講座タイトルとして開催しています。

10月講座 「認知症になっても困らないために」～認知症者の見ている世界とは～

令和2年の厚生労働省の「生命表」では最も死亡者数が多い年齢は男性が88歳、女性が93歳となっています。この年齢の認知症有病率は男性で35%、女性では65%にもなります。もはや認知症は誰でも発症する可能性があるとともに、長生きの証であると言えます。長寿命社会を迎える今こそ、認知症本人も介護者も精神的・肉体的苦痛を少しでも和らげ笑顔で過ごせるようになりたいものです。高齢者が精神的葛藤のない環境では器質的変化が脳に生じて問題行動が少ないとの調査結果があります。認知症の人にあたたかく接することで本人も周囲の人も明るく幸せに暮らせる可能性があります。そのためには、認知症の方が認識している世界がどのような世界なのか、何に困りどうして欲しいのかを知り、上手に対応していくことが必要になります。しかし、認知症本人の見えている世界はまさに千差万別です。それは認知機能の障害が様々なだけでなく本人の性格や生活環境などによっても違ってきます。今回はどのような世界が本人には見えているのか、どのように対応したら良いのかを皆様と一緒に考えたいと思います。

【講師】 埴 猛 講師 [認知症介助士、BAA ライフデザイン・アドバイザー、BAA専務理事]

- ◆ 日時：10月19日（水）15：00～16：30
- ◆ 開催場所：三鷹ネットワーク大学 教室
- ◆ 受講料：無料・・・三鷹市民でなくても参加できます。
- ◆ 申込先：三鷹ネットワーク大学 URL <http://www.mitaka-univ.org/>
- ◆ 事前に申し込みが必要です、上記 URL から登録し申し込み下さい。TEL：0422-40-0313

BAA イベントのご案内

今回ご案内します BAA 大相撲観戦会は、荒れる初場所と最近言われるほどになった一月場所で白熱した取り組みが期待されます。屋外のイベントである「ぶらり街歩き」は歴史と自然が豊かな江戸城を巡ります。綺麗な紅葉を見ることができのかもしれない。また、観劇会は落語と歌舞伎のコラボ忠臣蔵など、申し込みを一人からでもお受けしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

1. 第51回BAA大相撲観戦会 2023年一月場所

- ・日時：2023年1月20日（金） 13日目、15時集合
- ・場所：両国国技館、2階椅子B席
- ・会費：4,300円（通常料金 5,000円）
- ・募集人員：50名
- ・申込締切日：10月21日（金）

2. 第8回 ぶらり街歩き 「江戸城ウォーク」

歴史と自然が豊かな北の丸から始まり、本丸・二の丸・三の丸跡を通り、外苑の桜田門まで歩きます。歴史の現場を体感しながら、散歩を楽しみましょう。

- ・日 時 : 2022年11月20日(日) 10:00~12:30
- ・コース : 田安門~清水門~紀国坂~北詰橋門~天守台~大奥跡~本丸休憩所~天守復元模型~汐見坂~二の丸庭園~中の門・石垣修理の説明版~百人番所~同心番所・下乗門跡~三の丸尚蔵館~大手門~外苑~桔梗門~坂下門~二重橋~桜田門
- ・ガイド : 東京シティガイド(NPO東京シティガイドクラブ認定者)
- ・歩行距離 : 4km未満のゆったりコースです
- ・集合場所 : 10:00 メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線「九段下駅」2番出口地上
- ・会 費 : 500円(当日払い)、会員以外:1,000円
- ・申込締切日 : 11月10日(木)

3. 第97回「囲碁大会」

- ・日 時 : 12月1日(第1木曜日) 12:30~16:30(受付開始:12:00)
定例の第2木曜日とは異なりますのでご注意ください。
- ・場 所 : 日本棋院・有楽町囲碁センター(東京都千代田区有楽町2丁目101 東京交通会館9階)
- ・競技方法 : 各自の持ち点数により、上位者からAクラスBクラスCクラスに分け、各クラスの中で3局対局(組合せは籤引)とします。対局時間は80分(1人40分ずつ)とし、全て対局時計を使用します。
- ・会 費 : 2,000円(昼食お弁当はありません) 感染防止のため囲碁センター内での食事はできませんので、各自昼食を済ませてからの参加をお願い致します。
- ・募集人員 : 50名
- ・申込締切日 : 10月31日(月)
次回は2023年3月2日(第一木曜日)を予定しております。

4. 観劇会<初代国立劇場さよなら公演. 令和4年度(第77回)文化庁芸術祭協賛公演>

『歌舞伎&落語 コラボ 忠臣蔵』

<落語> 『殿中のござる』『中村仲蔵(なかむらなかぞう)』 出演:春風亭 小朝

<歌舞伎> 『仮名手本忠臣蔵(かなでほんちゅうしんぐら)』 出演:中村 芝翫 ほか

- ・日 時 : 11月 2日(水)、3日(木)、5日(土)、6日(日)、8日(月)、9日(水)
- ・ 11日(金)、12日(土)、13日(日)、14日(月)、15日(火)、
- ・ 18日(金)、19日(土)、20日(日)、21日(月)、24日(木)
- ・開 演 : 各日とも12:00
- ・場 所 : 国立劇場
- ・募集人数 : 各日とも先着10名まで(申込みは一人からでもお受けします)
- ・会 費 : 8,000円(税込)(定価:1等席10,000円(税込))
- ・申込締切日 : 10月7日(金)
- ・

5. 観劇会<明治座、東宝、ヴィレッチの「三銃士企画」第2弾>

『歌妖曲～中川大志之丞変化～』

中川大志が、昭和歌謡版リチャード三世と美貌の歌手を縦横無尽に変化！
その血に、運命に、復讐を遂げるべく、唄と殺しの華麗なるショーが幕を開ける。



- ・ 出演：中川大志／松井玲奈／福本雄樹／浅利陽介／中村 中／山内圭哉／池田成志 ほか
- ・ 日時：11月18日（金）、11月19日（土）、11月27日（日）
- ・ 開演：各日とも12：30
- ・ 場所：明治座
- ・ 募集人数：各日とも先着10名まで（申込みは一人からでもお受けします）
- ・ 会費：10,800円（税込）（定価：S席13,500円（税込））
- ・ 申込締切日：10月28日（金）

☆各種イベントの申込み メール又はFAXをお願いします。

- ・ 申込先：事務局 北村宛 メール：kitamura@baa.or.jp FAX：03-3437-2510
- ・ 申込み要領：希望のイベントに参加されるメンバー全ての方の①から⑥を記入下さい。
①お名前（ふりがな）、②メールアドレス、③電話番号、④イベント名（観劇・囲碁大会・お話の会・大相撲など）、⑤個人会員または会員企業名、⑥その他（連絡事項など）

B A A 法人会員・OB および B A A 個人会員の方が参加できます

L D A の 会 報 告

ライフデザイン・アドバイザーの認定者626名の活躍の紹介欄です。同期会・分科会（研究会）・支部活動状況や会員の皆様の情報などを紹介します。

【LDAの会活動報告】

1. 4水会

9月の4水会は山口輝雄氏（11期）による「北海道中央部を旅しませんか」～東京海上エイトクルー札幌茨戸レガッタ参戦～でした。

札幌郊外にある茨戸湖で開催された茨戸レガッタに東京海上エイトクルーで参戦され、終わってからの旅での、雄大なそしてラベンダー香る富良野、美瑛地区美しい写真、旭川動物園の動物たちをご披露頂きました。大自然の魅力にどっぷり浸りながら楽しいひと時を過ごすことができました。

次回10月は榊原敏秀氏（22期）による大好評のシリーズ「昭和の名曲に魅せられて」～懐かしのカントリーウエスタン特集～ 皆様の参加をお待ちしております。（ZOOM開催）

☆歴史探訪、懐かしい音楽、私の健康法などなど楽しい話題をご提供ください。

お申し込みは事務局 濱田俊一まで (hamada@baa.or.jp)

2. 分科会・支部活動状況

(1) CDS 分科会 埼玉県鴻巣高校 模擬面接実習報告

代表 小林英明

LDAによる埼玉県鴻巣高校での、就職に向けた模擬面接指導を行いました。

BAAの社会貢献の一環としてのボランティアも本年度で14回目になりました。例年通り、学校打合せをCDS小林会長により、また面接指導を堀之内氏(元鴻巣高校評議員)をはじめ7名のLDAにより滞りなく行われました。



・実施日 8月28日(日) 13:00~16:00

・鴻巣高校就職希望者3年生26名

・LDA(敬称略) 松倉壯典、倉重敦子、堀之内英明、森田初美、石井直子、横山出、片柳ます美

・内容 企業採用経験者による「就職面接の受け方・対応の仕方・質問傾向」を、生徒に実践的に体験させることが目的です。今年も緊張を解きほぐしながらLDAによる面接での心構え更に社会人になる恐怖心などを取り除くアドバイスをしました。

今年も、生徒の面接に一生懸命に取り組む姿と作成した履歴書に、ここまで担当された先生方のご尽力を感じました。「希望と自信を持って挑戦し、成功して欲しい」「生徒のこれからの人生を豊かに」との思いを鴻巣高校の生徒と先生、そしてBAA・LDAが、一体となって共有した充実の時間でした。以下に指導状況の写真と生徒へのアドバイス(要約)を紹介します。



指導員：松倉さん

履歴書がよく考えられており面接のマナーや話し方が良かった。志望動機はキーワードで。



指導員：倉重さん

生徒の直向さに打たれました。自立しようと決心した理由を自分の言葉で語ろうとする姿は説得力があった。



指導員：堀之内さん

「面接官はあなたの優れたところを出そうとする応援団だ」全員の内定を祈ります。



指導員：森田さん

履歴書が丁寧で読みやすい。自分はこの会社で働きたいという思いがしっかり伝わりました。



指導員：石井さん

たくさん練習を重ねておもいを本番へ発揮すること、体調管理して万全で臨むようアドバイス。



指導員：横山さん

入退室と礼の指導。資格を持たない、長所に気づかない、うまく表現できない生徒にアピールポイントと履歴書で表出し。自信を持ってもらえ熱い思いを共有できた。



指導員：片柳さん

挨拶→アイスブレイク→志望動機の順に進め自分を語るができるよう問いかけました。みんな頑張れ!

(2) 相続研究会

代表 池上義雄

- ・活動名称 相続に関する勉強会
- ・日時 2022年9月26日(月) 18:30~20:00
- ・開催場所 オンライン(ZOOM)
- ・参加者(敬称略) 浦田、渋谷、大庭、木村(勝)、九鬼、山田(清)、森本、森、池上(9名)
- ・内容 前回から参加の山田(清)さんの事例につき状況説明と疑問点等につきどのような解決策が考えられるのか意見交換を行いました。相続はお金が絡んできますがそれよりも相続の当事者である親への思い、身内の人の間の感情にどう割り切って対処していくべきか、改めて考えさせられたケースでした。
- ・次回予定 12月19日(月) 18:30~

(3) 関西世話役会

代表 米本昌史

- ・活動名称 定例会
- ・日時: 9月8日(木) 20時30分~21時30分 ZOOMにて
- ・参加者: 伊藤、笹記、前野、東野、埴、大庭、濱田、米本(記)
- ・内容: 秋のイベントについて酒造訪問や観光ボランティアコース等の内容を論議した。
結果; 奈良県内の酒造候補地 (10月11日を仮日程としたがのちに新酒の出る季節に変更)
- ・今後開催するセミナーについて関西会員の特徴であるキャリコンに関心のあるテーマを考える。
- ・次回世話役会 9月14日(仮)

(4) 同期会

9月30日 LDAの会33期(燦燦会)開催

【事務局より】

- ◇ LDAの皆さんの「LDAの会」への積極的な参加、参画をお願いいたします。
- ◇ LDA同期会、分科会、オープン勉強会予定について、ご報告、寄稿をお待ちいたします。
- ◇ ZOOMでの開催の場合はBAA事務局ID等でフォローします。距離を考えずにマスク無しの同期会、分科会などの開催の折は、是非ご連絡ください。 事務局長 濱田俊一

法人会員活動報告 「未来世代のために」

7月号から先月号まで「会員の声」として会員のご意見・ご質問をお届けしてきました。今回は法人会員の活動をご紹介します。すべての人々にとってより良い、より持続可能な未来を築くためのSDGs(持続可能な開発目標)は社会から要請されるグローバルな課題ですが、企業にとっても達成すべき重要な課題になっています。当協会の法人会員も日頃からこれらの課題に熱心に取り組んでいます。今回は東京海上日動火災保険株式会社の活動をご紹介します。来月以降も掲載していく予定ですので、この欄を法人会員の皆様の活動を広報する場として、活用していただければ有り難いです。皆様の寄稿をお待ちしております。

「未来を担う子ども達への教育を支援」

東京海上日動火災保険株式会社

東京海上グループでは「未来世代」をステークホルダーとして明確に位置付け、「子供たちへの教育・啓発」を重点領域として取り組んでいます。東京海上日動火災保険(株) (以下、東京海上日動) は未来を担う子ども達への教育支援として「みどりの授業」「ぼうさい授業」「リスクと未来を考える授業」を精力的に実施しています。

<みどりの授業>

2005年10月より環境啓発活動の一環として「みどりの授業」を実施しています。社員・代理店等がボランティアで講師になり、小学校や特別支援学校等を訪問し、マングローブ植林を題材に地球温暖化防止・生物多様性・津波や土砂流出の被害軽減等の効果について学び、自分たちでできる地球環境保護活動について学習します。みどりの授業は2022年3月末までに、延べ886回の授業を58,280名の児童・生徒が受講しています。



<ぼうさい授業>

東日本大震災で得た教訓を踏まえ、2012年から社員・代理店等のボランティアによる防災・減災をテーマにした防災啓発プログラム「ぼうさい授業(地震・津波編)」を実施しています。授業の中では、地震・津波の発生の仕組み、地震が起こった時の対応、事前の備えなどについて子供たちが学習します。2019年度からは新たなプログラムとして大雨が降るメカニズム、避難行動を起こす心構えや避難所での過ごし方を学ぶ「ぼうさい授業(水害・土砂災害編)」を開始しています。

ぼうさい授業は2022年3月末までに、延べ975回の授業を64,315名の児童・生徒が受講しています。



<リスクと未来を考える授業>

中高生向けには、大学・NPO等の教育関係者ととも開発したカードゲームとグループワークによる独自の教育プログラム「リスクと未来を考える授業」の展開を通じてキャリア教育の推進に貢献しています。生徒の皆さんが身近な「ベーカリーショップの経営者」になり保険を含む長く続けられる、いいお店にするため作戦を考えます。経営者を取り巻くさまざまなリスクへの対応を疑似体験でき、課題の発見や解決に主体的・協働的に取り組む学びの場として、リスクと未来を考える授業は2017年から全国で本格的に展開し、2022年3月末までに受講者は1,600名を超えました。

東京海上日動は、地域貢献を大切にするお客様や地域の代理店さん等と連携することで相互の関係強化や地域からの信頼向上を目指し、安心・安全でレジリエントな社会と未来づくりを推進していきます。



企業・団体様への派遣講師登録のお願い

BAAでは、LDA養成講座修了者を対象に2023年度の企業様・団体様、三鷹ネットワーク大学講座およびシニアセミナーの講師を募集しています。

